

事例33

<事例概要>

処方時に間違いがあり過量投与に至った

ヒューマリン（インスリンヒト）：糖尿病治療薬（高カリウム血症治療）

- ・ 60歳代、慢性心不全、肝硬変、肝細胞がん
- ・ 高カリウム血症のためGI療法を施行。ヒューマリン 10単位を処方したつもりで、ヒューマリン 10mL（1000単位）＋7%ブドウ糖液 100 mLを処方した。看護師はインスリン専用注射器を使用せず、10 mL注射器を用いて準備、持続点滴を実施した。
- ・ 投与開始約1時間後、頻脈、冷汗著明、意識レベル低下が出現、血糖測定するが検出不能。GI療法を中止し、20%ブドウ糖液、50%ブドウ糖液 40mL＋生食を静脈内注射。血糖値は160 mg / dL台へ上昇し一時意識レベルは回復した。しかし、徐々に意識レベルが低下、下血からショック状態となり、約2週間後に死亡。
- ・ 死因は、低血糖を契機とした肝不全、播種性血管内凝固症候群。死亡時画像診断（Ai）無、解剖有。